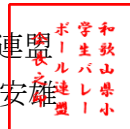


令和5年5月20日

和歌山県小学生バレーボール連盟
地方理事殿

和歌山県小学生バレーボール連盟

会長 山本安雄



暴力撤廃アクションへの取り組みについて

平素より和歌山県小学生バレーボール連盟事業にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、日本バレーボール協会（JVA）は、暴力撤廃アクションの一環として、小学校/中学校/高校の大会において、「選手宣誓」の後に「指導者宣誓」を合わせて行う事を推奨しています。

日小連は、JVAより依頼を受け、暴力撤廃アクションに協力する事を決定し、県小連も日小連より取り組んで欲しい旨の依頼を受けました。

以上について、JVAより示された、JVAのPress Release および、暴力撤廃アクション指導者宣誓マニュアルを、5月14日に開催した常任理事会で検討をした結果、全国的に体罰・暴力などが後を絶たない現状を鑑み、県小連としても暴力撤廃に協力する事といたしました。

つきましては、6月17日・18日に開催する全日本小学生バレーボール大会・和歌山県決勝大会の開会式に「指導者宣言」を行う事といたします。

県小連登録チームの皆様にかかれましては、添付のJVAのPress Release および、暴力撤廃アクション指導者宣誓に目を通して頂き、ご理解をお願い致します。

なお、宣誓をお願いする指導者様については、6月7日の組み合わせ抽選会で抽選により決定したいと考えております。

以上

2023年3月24日

**指導と暴力の間に隠れた「未暴力」に目を向ける「暴力撤廃アクション」を開始
～ウェブサイト開設・新聞広告を展開～**

日本バレーボール協会(JVA)は、バレーボール指導の現場において、暴力・暴言・ハラスメントなどいき過ぎた指導が問題となっている状況を危機感を持って受け止め、「暴力撤廃アクション」を開始いたします。本アクションは、昨今のスポーツ指導の在り方を見つめ直し、指導現場から暴力を完全に撤廃することを目的として立ち上げたものです。

JVA は暴力の撤廃に向けてこれからも断固たる決意で臨みます。加えて、この「暴力撤廃アクション」では、暴力的指導になるさらに前の段階で防ぐことができたのではないかと、という視点から、指導の現場にある、明らかな「暴力」とは判断しづらいが、将来的に暴力に発展する可能性を秘めた、注視すべき状態である「未暴力」について皆さまと一緒に考え、話し合うきっかけを作り、暴力的指導への発展を防ぐことを目指してまいります。

具体的なアクションとして、3月24日(金)に「暴力撤廃アクション」のウェブサイトを開設するほか、3月25日(土)に日本経済新聞に啓発メッセージを掲載いたします。また今後も継続的な取り組みを実施し、指導現場の改善に努めてまいります。



■暴力撤廃アクション 第1弾:暴力撤廃アクションのウェブサイトを開設

3月24日(金)に、「暴力撤廃アクション」のウェブサイトを開設いたしました。サイトでは、“それって、指導ですか？暴力ですか？”という問いかけのもと、「未暴力」を含む暴力の実態や捉え方について学ぶコンテンツや、指導の方法を学ぶ「グッドコーチングセミナー」の動画、悩んでいる方に向けた「相談窓口」などをご紹介します。指導する側、指導を受ける側、そしてその周辺の全ての関係者にとって有益となる情報を提供することで、バレーボール界全体の暴力撤廃に対する意識および理解力の向上を狙います。

暴力撤廃アクション ウェブサイト <https://minnano-volleyball.jp/action-against-violence/>



■暴力撤廃アクション 第2弾:3月25日(土) 日本経済新聞に啓発メッセージを掲載

3月25日(土)発行の日本経済新聞に、日本バレーボール協会として暴力撤廃を目的とした啓発メッセージを掲載いたします。“それって、指導ですか？暴力ですか？”という問いかけとともに、指導現場で起こり得る、一つの事象に対する指導する側・指導を受ける側それぞれの考えをコピー化して記載しています。これは、一概には判断できない「未暴力」状態も含めた暴力問題があることに気付いていただくことを狙いとしています。またハッシュタグ「#指導ですか暴力ですか」を通じて、SNS 上で暴力撤廃に関する議論が活性化されることも目的としています。

啓発メッセージ



14番のコーチが書いた言葉

#指導ですか

「自分達は練習のたびにコート裏まで走らなければならないから練習はもう無理、もう練習はもう無理」
食べた後、チーム全員の前で、「お前のせいだ」ピコ一平に責められた。

「自分達は練習のたびにコート裏まで走らなければならないから練習はもう無理、もう練習はもう無理」
バレーボールを壁にたたきつけて、「たるんでる」と大声で罵られました。

「自分は昔は自分のコート裏まで走らなければならないから練習はもう無理、もう練習はもう無理」
レシーブの練習で、どう考えても取れない場所にボールを打たれます。

「自分達は練習のたびにコート裏まで走らなければならないから練習はもう無理、もう練習はもう無理」
練習で自分のミスが頻いたら、チーム全員に罰金が課せられました。

「自分達は練習のたびにコート裏まで走らなければならないから練習はもう無理、もう練習はもう無理」
立っているのも練習で、「もう練習です」と言っても聞いてもらえなかった。

「自分達は練習のたびにコート裏まで走らなければならないから練習はもう無理、もう練習はもう無理」
プレーが下手な選手は、「このバカ」と呼ばれます。

「自分達は練習のたびにコート裏まで走らなければならないから練習はもう無理、もう練習はもう無理」
「貴が低いんだから、人の世ががんばってようやく一人前だ」と言われます。

「自分達は練習のたびにコート裏まで走らなければならないから練習はもう無理、もう練習はもう無理」
練習後、2人きりの体育館空室で、1時間くらい怒りの言葉をうちました。

それって、指導ですか？暴力ですか？

※本ポスターは、日本バレーボール協会が主催する「暴力撤廃アクション」の一環として制作されています。詳細は、本ポスターの裏面に記載されています。また、本ポスターの裏面に「#指導ですか暴力ですか」というハッシュタグが記載されています。このハッシュタグをSNS上で発信することで、暴力撤廃に関する議論が活性化されることを目指しています。

■暴力撤廃アクション 第3弾:暴力撤廃を宣言する指導者宣誓の実施とロゴマークの掲出

指導者自身の意志を変えていくアクションとして、今後 JVA が主催する各種大会では、指導者が暴力撤廃を宣誓する「指導者宣誓」を実施いたします。指導者宣誓は選手宣誓の対となり、指導者が、選手を含む全てのステークホルダーに対して指導のあり方を見つめ直し、議論のきっかけとなることを目的として行います。また、暴力撤廃アクションのロゴマークを大会会場に掲出し、暴力撤廃に対する意識と理解の向上を目指します。

暴力撤廃アクションのロゴマークについて



「暴力」・「未暴力」を撤廃していくためには、一つひとつの事象について、関係者がオープンに話し合っている環境が重要です。そこで、「暴力」・「未暴力」に気づき、それに対して手を挙げて問いかけることで暴力を制止する行動喚起を表現しました。エクスクラメーションマークをモチーフに、手を挙げる様子、さらにその手を重ねて暴力をブロックする手を表しています。

■日本バレーボール協会 会長 川合俊一コメント



日頃は日本バレーボール協会の活動にご理解・ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。この度弊会は新たな「暴力撤廃アクション」に取り組むことを発表いたしました。会長に就任してから一年、様々な改革に取り組んでおりますが、暴力的指導の撤廃は非常に大きなミッションです。ここに改めて、日本バレーボール協会はこの問題に真正面から向き合うことを表明いたします。

スポーツの指導現場における暴力的行為は絶対に許されるものではありません。暴力的指導の撤廃については、今までも各世代の指導現場で様々な形で取り組み、弊会も指導者の教育や相談窓口の開設などを通じて対策を講じてまいりました。これからも私たちは暴力的指導に対しては厳しく対処していきますが、同時に、暴力的指導となる前の段階で防げたこともあるのではないかと注目のアクションです。

指導する側、指導を受ける側、そしてその周辺にいる全ての関係者も、ともにバレーボールを愛し、ともに目標に向かって前進しようとするその過程で、指導中の行動や発言の誤りに互いに早い段階で気が付けば、よりよいバレーボール生活を送ることができるのではないのでしょうか。一度立ち止まって自分や相手の気持ちを考えてみることで、そして少しでも疑問に思ったら誰かに話してみることで、シンプルなことではありますが、それが暴力的指導の撤廃においてとても大切なことなのではないかと考えています。

暴力的指導は状況や人間関係によってその発見が難しく、その対策に終わりはありません。この「暴力撤廃アクション」の開始を機に、指導現場でこの問題に取り組んでくださっている皆さまとともに、より一層真摯に「暴力」「未暴力」と向き合っていく所存です。皆さまどうぞご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

[全5枚]

◆本リリースに関するお問い合わせ先◆

JVA マーケティング戦略推進部 marketing@jva.or.jp

暴力撤廃アクション

指導者宣誓 マニュアル



日本バレーボール協会（JVA）は、「暴力撤廃アクション」の一環として、小 / 中 / 高校の大会において、「選手宣誓」の後に「指導者宣誓」をあわせて行うことを推奨していきます。

それぞれの大会主催者は、大会プログラム作成に際して、「選手宣誓」の後に「指導者宣誓」を組み込むことを検討お願いします。

本マニュアルでは、「指導者宣誓」を行う目的と具体的な実施方法について記載しています。
また、本マニュアルは、実施プランの例であり、各大会ごとの状況に応じて、実施可能なプランへの変更を認めております。

CONCEPT

暴力撤廃アクション

それって、指導ですか？暴力ですか？

「暴力撤廃アクション」は、バレーボールから、体罰・暴力・ハラスメントをなくすプロジェクトです。

「指導ですか？暴力ですか？」という問いは、指導者・プレイヤー・保護者・全てのバレーボール関係者が考えるべき問いです。

これを軸に具体的なアクションに取り組んでいきます。



ロゴマークに込めた思い

暴力を撤廃するという強い意志を込めたこのロゴマークには、一人ひとりの気づき「！」と具体的なアクション「手を挙げる」が必要ということ表現しています。

ロゴマークの活用

常に意識することを目的に、大会などの様々なシーンで活用していきます。

概要

「指導者宣誓」は、指導者による暴力撤廃アクションです。

選手を含むすべてのステークホルダーに対して、指導する当事者が、暴力撤廃を宣言します。

それにより、暴力撤廃に対する意識と理解の向上と、指導のあり方を見つめ直し議論のきっかけを生むことを目的としています。

日本バレーボール協会は、各大会での「指導者宣誓」の実施を推奨していきます。

目的

- ・暴力撤廃に対する意識と理解の向上
- ・指導のあり方を見つめ直し議論のきっかけを作る

指導者宣誓の選定

- ・人選については各大会主催者に一任する
- ・複数名での実施も可能
- ・選定期間については選手宣誓者の選定と同時に行うものとする

実施内容

- ・開会式において暴力撤廃アクションのフラッグを掲げ指導者の代表者による「指導者宣誓」を行う
- ・選手宣誓と対になるものとして選手宣誓の後に実施

補足

- ・指導者宣誓の内容は実施の趣旨に合う範囲で変更可能
- ・選手宣誓後に指導者宣誓を実施する形が理想だが各大会の運営に合わせて時間等調整することも可能